

## 2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 葛飾区立西小菅小学校 ] 担当教諭名 [ 兼近 真慈 ] ( 6年 26名 )

相手国・地域 [ オランダ ]

海外学校名 [ Meander College ] 担当教諭名 [ Bertus Bakker ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界友達プロジェクト～想いを共有しよう～	15
	総合的な学習の時間	Scratch でプレゼンテーションしよう	3
	外国語	世界の国々・自分たちの町や地域	6
	図画工作	オランダの学校と壁画を共同制作しよう	3

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来への懸け橋 ～共存～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	各国、それぞれに課題を抱えている。しかし、先人の方々もいくつもの課題を乗り越え、今の社会が成り立っているということをわたしたちは未来を創る上で忘れてはならない。先人から受け継いだ歴史や文化を大切にするとともに、今なお、様々な課題に直面し、共存しながら生活している社会の様子を自国のよさを踏まえて表現し、伝えていこう。
	

### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な開発目標 (SDGs) について、考えを共有する中で、異文化を理解する力や多様な他者と協働する力を高めることができた。</li> <li>教科横断的に取り組むことで、各教科等での学びを一層深いものにすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科横断的な視点でカリキュラム・マネジメントを行い、教科等との関連を図るとともに、身に付けさせる力を明確にする必要がある。</li> <li>情報機器の使用規制が多く、フォーラムのみの交流になってしまった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>他者を思いやり理解し合おうとする態度を高めることができた。</li> <li>オランダをはじめ、世界の課題について考える中で、国による文化や認識の違いについて理解するとともに、国際感覚を養うことにつながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解教育について、理解を深めるとともに、外国語への指導意欲を高めることができた。</li> <li>直接交流に必要な環境整備や外国語でのコミュニケーションのための人材活用について必要感を高めることができた。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーラムで自己紹介をしてお互いを知る。</li> <li>・テーマについて学習したことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に自国のよさを伝えるためにはどうすればよいか話し合い、プレゼンテーションソフトの効果的な方法を考えるなど、相手意識をもって意欲的に活動することができた。</li> </ul>	総合7 外国語2
共有 テーマ学習	7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマについて学び合ったことを自分たちの未来とつなげて考える。</li> <li>・持続可能な世界を創るためには、どういう課題があるのか、互いの共通点と相違点を明確にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手国との共通点や相違点について考えることで、互いの課題を発見することができた。</li> <li>・グローバルな視点で、テーマについて多角的に考えることができた。</li> </ul>	総合3 外国語2
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの伝えたい想いを確認し、テーマの共有を行う。</li> <li>・相手の構図を意識しながら、テーマに沿ったデザインを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信するメッセージの大切さに気付くことができた。</li> <li>・テーマに対する共通の想いを実現するためのデザインを学級全員で考え、決めることができた。</li> </ul>	総合3 外国語1 図工1
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級全員で壁画制作における分担を決める。</li> <li>・壁画の下描きから完成までの過程をフォーラムを用いて共有した。</li> <li>・展覧会に出展し、テーマに込めた想いを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担し、実行委員ごとのチームに分かれて協力して取り組むことができた。</li> <li>・完成したものは、展覧会に出展し、他学年の児童や保護者と交流を図ることができた。</li> </ul>	総合3 外国語1 図工2
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同学習における一連の活動を振り返る。</li> <li>・完成した壁画を鑑賞・評価し、互いの感想を交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学びを振り返り、共同学習を通して、他者理解について理解を深めることができた。</li> </ul>	総合2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	自国の文化について相手に紹介するためには、自国の文化のよさを知る必要があるということに気付くことができた。
異文化を理解する力	5	直接交流を通して、調べ学習だけでは理解できない相手国の様子や考え方を知ることができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	ビジュアルプログラミング言語を活用し、目的意識や相手意識をもって効果的なプレゼンの仕方について考え、発表することができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	相手に自分たちの想いを理解してもらうために、外国語での学びを活用し、伝え方を工夫することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	それぞれの国の文化にある共通点や相違点等を話し合う中で、両校のテーマについて深く考えることができた。
主体的に考え行動する力	5	相手に自分たちの想いを伝えるために、発表内容や方法について考え、行動に移すことができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	テーマに沿って、「自分たちができること」を共有し、実践に向けた計画を立て、実行することができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	メッセージ作成や壁画制作を通して、世界の友達と対話的・協働的に学び合い、様々な手段で自分たちの想いを表現することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	たてわり班での鑑賞学習を通して、ファシリテーターとして作品に込められた想いを交流し、自分の学びを振り返ることができた。